

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)		家電量販店（店長）	単価の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要で売上が前年比2割増となっている。来客数は前年並みだが、客の購入意欲が明らかに高まっている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・直近のお盆商戦の商品単価の動きが良く、景気はやや良くなっている。前年やゴールデンウィークの状況と比較しても、単価の高い商品を購入する客が圧倒的に多くなっている。
		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・消費税の引上げを前に販売量が増加している。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・新型の軽自動車の販売が好調なため、前年比110%となっている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・商品の生産状況が良くなっている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要のお陰で売上が前年比プラスとなり、好調である。
		一般レストラン（店長）	単価の動き	・3か月前に比べて客単価が上昇傾向にあり、落ち込んでいた来客数も徐々に回復している。天候不順による落ち込みはあったが、それを除けば好調だった前年並みで推移している。
		観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・夏休みに入り、施設の近くの川を訪れる来客数が前年より増加している。レジャーの費用を安く済ませるため、客がほとんど金の掛からない川遊びを選択しているということもあり、売店の売上や宿泊者数が増加している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・8月に2週間以上猛暑が続いたため、涼しいタクシーを利用する客が増加したほか、イベントの開催も利用客の増加につながっている。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の様子から景気がやや良くなっている。
		競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・1日の平均売上が3か月前より若干上回っている。
		その他レジャー施設 [温泉センター]（担当者）	来客数の動き	・繁盛期であり、1年のうちでも来客数が増える時期なので売上等は上がっている。
		住宅販売会社（営業担当）	販売量の動き	・客からの問合せが多くなっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・イベント開催時は人通りもあるが、ふだんは閑散としており来客数も増えていない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・低価格志向が強く、買い控え傾向も続いている。
		商店街（理事）	お客様の様子	・天候不順、消費税の引上げ、日韓関係など各種問題で不安が募り、消費を妨げている。
		一般小売店 [食品]（経営者）	単価の動き	・食品スーパーではデフレ傾向が一向に改善されず節約志向が徹底している。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・来客数は前年並みであったが、猛暑、台風、大雨など天候の影響もあり売上は前年割れの部門が多い。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・7月は平成30年7月豪雨の反動で前年を大幅に上回る来客数であったが、8月はミセスの売上が前年を大幅に下回り、特価品、常備品のいずれも厳しい状況である。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・8月前半は夏物セール動きが良く、日傘やサンダルが好調、アクセサリー、宝飾、家庭用品は消費税の引上げ前の駆け込みの動きがみられるが、ラグジュアリーバッグや化粧品には今のところ動きがみられない。
	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・消費税の引上げ前で売上が増加していく時期にもかかわらず、動きがみられない。国際情勢が不安定で株価が下落傾向にあり、消費も弱い状況である。	
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・ラグジュアリーブランドの数十万の婦人服が売れたり、美術品や陶芸品で100万円程度の物が売れたりしている。	

百貨店（外商担当）	来客数の動き	・前年ペースで推移していたが繁忙期であるはずのお盆に台風が直撃、店舗が1日休業日となり状況が一変した。月後半も客足が戻らず厳しい状況となっている。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・消費税の引上げを前にして、衣料品関係の動きに変化はないが、宝石や美術品はいつも以上に高額の商品が売れている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・3か月前と比較し、来客数は前年比94%前後で推移し、悪い状態が続いている。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・来客数が前年比102%、売上が前年比105%で、数字としては悪くはないが、ここ数か月の動向と比べると、やや低調である。本来であれば、集客の見込まれるお盆休みに台風の直撃を受けたことが、大きく影響している。
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・1人当たりの客単価に大きな変化がない。
スーパー（業務開発担当）	単価の動き	・販売点数は前年並みで推移しているものの、単価が上がらない。特に野菜の単価が13ポイントも下がっており、他の商品も特売でしか動かない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は若干減少しているが、客単価が上がっているため、変わらない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候にも恵まれたため、変わらない。
コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・10月からの消費税引上げ後の来客数の動向について注意が必要で、買い控えが予想されるなか、電子決済を行った客への2%還元についてどのような反応が起こるか未知数である。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・特に何も変化はない。
家電量販店（店長）	お客様の様子	・7月末の梅雨明けと猛暑で、年配者の多くが外出を控えている。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が少なく、単価も上がっていない。
家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・来客数が10%以上減っている。
その他専門店【土産物】（経営者）	お客様の様子	・土産物の単価や売上がやや下がっているが、それ以上にインバウンド以外の客に元気がない感じである。
その他専門店【時計】（経営者）	単価の動き	・消費者によって購買意欲がかなり違い、全体的には売上が伸び悩んでいる。
その他小売【ショッピングセンター】（支配人）	来客数の動き	・お盆期に台風が到来し、売上や来客数の月間数値を約4.5%低下させている。消費税の引上げ前の駆け込み需要はまだ目立って見られない。
その他小売【ショッピングセンター】（管理担当）	来客数の動き	・8月はお盆中の台風の影響もあり、来客数が全館的に伸び悩むなか、アウトドア関係の商材は比較的好調だったが、衣料品関係の売上が伸び悩み、消費税の引上げ前の目的買いの傾向が出ている。館内でのイベントでの来客数は前年よりも若干増加したものの、シャワー効果によるついで買いなどは余りない。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・来客数はそこそこだが、客単価が減少しているので、景気の良さが感じられない。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・消費税の引上げ前の駆け込み需要が目立って出していない。客の節約志向が変わらず、消費の変化が目立たない。
その他飲食【サービスエリア内レストラン】（店長）	来客数の動き	・土産物が不調である。
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・連休とお盆休みに集中して客が増加したが、一方で、連休やお盆休み前後の落ち込みが激しかった。
都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・駅商業施設の改装工事による影響もあるが、宿泊ではインバウンド団体が減少、婚礼宴会受注も低迷し、レストランの来客数も伸び悩んでいる。消費税の引上げ前の駆け込み需要などはほとんどみられず、ゴールデンウィーク明けからの景気低迷から抜け出せていない。

旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・昔に比べて、全国の気候などに違いがなく、夏は涼しい所へ旅行とかいわれていたが、今はどこも気候に変化はなく、設備や環境の良いところへの旅行となっている。
タクシー運転手	お客様の様子	・涼しくなり多少動きが出てきたが、良くも悪くもない。
タクシー運転手	来客数の動き	・朝昼はそうでもないが、夕方以降の動きが悪いので、全体的に悪くなっている。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ここしばらく低調な状態で推移している。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・消費税の引上げを意識しての動きがあるというより、全体的に営業面で停滞している。
放送通信サービス（総務経理担当）	お客様の様子	・料金の支払延滞を景気指標の1つとして捉えることができるが、延滞客数に大きな増減はない。
観光名所（館長）	来客数の動き	・8月中旬までは堅調に入場者数が伸びたが、台風10号の接近で14日は営業時間短縮、15日は臨時休館となり、8月の月間入場者数も一昨年比で5～7%前後減少する見込みである。前年比は平成30年7月豪雨の反動でプラスの見込みである。また、韓国からの来客数はもともと多くないが、日韓関係の悪化が長期化すると、韓国だけでなく、台湾や香港等の周辺エリアからの来客数にも波及するため痛手になる。
ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・韓国からの客が減少、予約も減少している。
設計事務所（経営者）	来客数の動き	・引き合いに変化がなく、消費税の引上げによる駆け込み需要がみられない。
設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・一部の業者が消費税の引上げ前の最終駆け込み需要で繁忙している状況だが、その他の業者には余り影響が見受けられない。消費者が消費税の引上げ後の優遇措置を見ながら行動しているようで、大きなプラス要因が見受けられない。
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・消費税の引上げ前に短期間で終わるリフォーム工事を考えている人や、民間建物の定期報告調査を9月までに終えたいという相談もあり、消費者は少しでも節約しようとしている。
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・総合住宅展示場モデルハウスへの来場者数が減少しており、イベントでの集客数も伸びない。
商店街（代表者）	単価の動き	・バーゲンセールで良い物を安く販売しているが購入につながらない。
商店街（代表者）	お客様の様子	・消費税の引上げ前の駆け込み需要がなく、連休や台風の影響もあり売上確保が厳しい。
商店街（代表者）	来客数の動き	・観光客数が全体的に減少している。
一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・8月は毎年売上が悪いが、特に今年は来客数が少なく、例年以上に悪くなっている。
一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・8月で当社の半期となるが、前年を大きく下回っている。
一般小売店〔靴〕（経営者）	来客数の動き	・7～8月は来客数、売上いずれも前年割れしている。
百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・大型改装による閉鎖売場拡大と催事会場仮設売場利用に伴い、物産展やギフト解体セール等の実績がマイナスとなっている。
スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数、買物点数いずれも減少が続いている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比97%で推移し、天候の影響もあり、特に平日の来客数が減少傾向にある。財布のひもが固くなり、週末に買いだめし、平日は無駄な買物はしない。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・来客数、買物点数いずれも減少気味である。
スーパー（管理担当）	販売量の動き	・来客数の減少に歯止めが利かない上、依然として節約志向が強く売上につながらない。
衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・呉服の催事がどこも悪い。

	乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・前年と比較して、来客数が減少している。	
	住関連専門店 (営業担当)	来客数の動き	・3年前と同じ店仕舞いセールを行っているが、売上は半分程度である。	
	その他専門店 [和菓子](経営者)	来客数の動き	・来客数は前年より増加しているが、一昨年に比べるとかなり減少している。	
	その他専門店 [布地](経営者)	お客様の様子	・今年の8月は猛暑で、客に元気がなく、ゆっくりと買物をしていない。	
	高級レストラン (事業戦略担当)	販売量の動き	・販売量が低下し、予算にも前年の実績にも届かない。	
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・来客数の前年比が6月は109.3%、7月は96.9%、8月は95.5%と低下傾向にあり、特にランチタイムが前年比91.7%、21時以降のディナーが前年比95.0%と落ち込んでいる。原因はお盆前の猛暑とお盆時期の台風接近による交通機関の停止により、お盆明けの需要が落ち込んだためである。曜日別では金曜日の来客数が前年比69.7%と大幅に落ち込んでいる。	
	都市型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・アジア圏の勢いが弱いことで、宿泊単価が伸びておらず厳しい状況で、国内地元客が利用するレストランもなかなか浮上しない。	
	都市型ホテル (総支配人)	販売量の動き	・国際情勢の悪化、特に韓国からのインバウンドの減少が影響を及ぼしている。	
	旅行代理店(支店長)	販売量の動き	・夏の繁忙期ではあったが、ゴールデンウィークの反動もあり販売目標に達していない。	
	テーマパーク (営業担当)	来客数の動き	・猛暑の影響と韓国や香港等からのインバウンドの減少により客の動きは鈍い。	
	テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・危険なレベルでの高温が続き、また中旬には台風接近で臨時閉園になり、今月期待をしていたお盆休み時期の来園者、主に野外イベントで少なくなっている。	
	美容室(経営者)	来客数の動き	・8月は花火やお祭りなどのイベントがなくなった影響で人の流れがなくなり、売上が激減している。	
	美容室(経営者)	お客様の様子	・客が年金問題、消費税上げ、物価上昇などの理由で引締め傾向にあり、節約していることから、売上が上昇しない。	
	×	一般小売店[眼鏡] (経営者)	販売量の動き	・商品の回転率が悪くなり在庫がダブっている。
	×	一般小売店[洋裁附属品] (経営者)	販売量の動き	・猛暑のため、人も少なく、売上も減少している。
	×	スーパー(財務担当)	販売量の動き	・7月同様、8月も前年は平成30年7月豪雨災害の特需があり、大きく売上を伸ばしたため、その反動や節約により既存店の来客数、買上点数いずれも前年を下回っている。
	×	乗用車販売店 (店長)	来客数の動き	・お盆の長期休暇で稼働日数が少なかったこともあり、来客数は前年の80%で、特に平日は前年の75%まで落ち込んでいる。
	×	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・新規の客の来場も減少し、販売量が5月の半分程度になっている。
	×	通信会社(広報担当)	お客様の様子	・客がとにかく安い物だけを求めている印象である。
企業 動向 関連	輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・若干落ち着いたが、忙しい状況が続いている。	
(中国)	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・客の動きで夏の販促シーズン及びイベントに関する受注量が増えている状況だが大きな進行ではない。	
	農林水産業(従業員)	受注量や販売量の動き	・依然として、単価安の状態が続いており、注文数も店当たりで、増えることがない。	
	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・お盆休みが終わっても、取引量に特に変化はなく、注文数も増減がない。	
	繊維工業(監査担当)	受注量や販売量の動き	・業界はオフシーズンに入っていて、商売、荷動きはほとんどなく、景気は横ばい状態である。	
	木材木製品製造業 (経理担当)	受注量や販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要で前年同期に比べ少し増加しているが、前年の売上が少なかったことを加味すれば、結果として景気は余り変わっていない。	

	鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・市中在庫が引き続き多く、各社在庫調整を優先し新規の発注を抑えている。
	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・主要客からの受注量について、日当たり数量に大きな変動はないものの、新製品効果による受注量は期待を下回っている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が横ばいで変化がなく、大きく上振れ下振れすることもなく安定感がある。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・予定物件で技術職職員の稼働が目一杯の状況が継続している。
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・取引先に大きな変化はない。米中貿易摩擦の影響も余り感じられない。
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・百貨店やスーパーのお中元の発送が伸び悩み、個人の荷物も落ち込んでいるが、電子商取引市場の拡大で現状を維持している。
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売成果に変動がなく、好転している感じも余りないが、安定はしている。
	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・地元完成車メーカーの世界販売が、主力のSUVの中国や北米での前年割れが続き、減少しているため、系列の地元部品メーカーの受注が伸び悩んでいる。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節商材や贈答土産品の受注量と販売量が伸び悩んでいる。
	化学工業（経営者）	取引先の様子	・米中貿易摩擦の影響もあり主要取引先の海外生産拠点で自動車向けを中心に受注量が減少しており、国内生産も徐々にではあるが調整局面になりつつある。
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・大口案件製造の谷間の時期となり、通常製造品の生産量に陰りが出ているため生産量が減少している。
	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・電子材料関係において、受注が極端に低下してきている。
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・工作機械の客からの受注が3か月前に比べ、20%減少している。客の引き合い自体が減ってきており、商談が少ない状況である。
	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・設備投資の谷間により売上が減少している。
	輸送用機械器具製造業（財務担当）	取引先の様子	・足元の円高リスクの高まりが国内船主の投資マインドに影響し始めている。
	輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国際情勢の懸念から荷動きが鈍くなりつつあり、夏季の商戦期も期間が短く、それほど影響が出ていない。
	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・製造業を中心にセキュリティ等の差し迫った課題を除き、情報通信関連の設備投資が減少している。アウトソーシングについてもパブリッククラウドといった安価なプラットフォームへの流れが出てきている。
	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・特に設備投資、貿易、消費の動きが鈍化している。
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数や成約件数が減少傾向となっている。
	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・発注量や規模が減少し、契約変更が増加している。
	x	-	-
雇用 関連 (中国)			
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・有効求人倍率がやや下降気味ながら、来春高卒求人はここ10年で最多となっており、企業の採用意欲は高水準のままである。
	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・求人数や求職者数などに目立った動きはなく、景気の変動は感じられない。
	人材派遣会社（経営企画担当）	求人数の動き	・求人数は引き続き前年、一昨年を超えて推移している。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は、ストック型製造、婦人服製造の繊維工業が好調だったため、製造業が前年同月比で2割増となったほかは、多くの業種で低調だったため、求人全体では横ばいとなっている。

	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・直近の新規求人数は前月の反動からか前年同月比で8.3%増加し、18か月目で前年同期を下回った有効求人数も微増ではあるが再度前年同期を上回っており、企業の募集活動に特段の変化はみられない。
	職業安定所（職業指導担当）	求人数の動き	・一般求人の状況は引き続き高水準で推移している。これからも高水準で推移し、人手不足の状況が続く。また、新規高卒者の求人状況も前年並みに高く、人手不足の状況が顕著である。
	職業安定所（雇用関連担当）	求人数の動き	・製造業の中には米中貿易摩擦等に影響を受け求人数が減少している事業所も一部見られ、新規求人数は前年に比べ微減、一方、有効求人倍率は横ばいで推移している。
	民間職業紹介機関（職員）	それ以外	・プライベートで利用している全国展開型の小売店は、いつ行っても人だかりが絶えなかったが、閑散としている日も出てきている。
	学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・求人数は多いが、若い世代の人口減少の影響であり、景気とは連動していない。
	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・求人数に大きな変化がない。
	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・3か月前と比べて求人数が1割程度減っており、求人数とともに求職者数も減っている。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・採用できない時期が続き、採用活動疲れに陥っている企業も出てきたため、小規模企業の求人件数がペースダウンしている。
	求人情報誌製作会社（広告担当）	それ以外	・来期の新卒採用予算取りをする時期だが、取引先のほとんどの企業が良くて今年度並み、おおむね前年より減少傾向となっている。インフラ関係の企業の仕事量の減少により採用枠が減少、消費税の引上げも含め、経済の先行きに不透明感があり、良くなる要素が見当たらない。慢性的な人材不足のメーカーにも、留学生採用を積極的に取り入れる動きが出てきており、金を大量に使っていた採用だけでなく、外国人も含み採用できる人材を採用する動きも出始めている。
	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求人数の動き	・求人数は、日韓関係の悪化による受注減や消費税の引上げ前の準備などにより、減少している。
	x	-	-